

「江府町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」による 平成 28 年度地方創生事業の検証について

開催日 平成 29 年 8 月 3 日

有識者

産	江府町商工会 会長	川端雄勇
官	西部総合事務所 日野振興局副局長 江府町担当コンシェルジュ	伊藤 賢
学	米子工業高等専門学校 教養教育課 准教授	加藤博和
金	鳥取銀行根雨支店 支店長	田中 敦
金	山陰合同銀行江府出張所 出張所長	鶴田佳文
言	新日本海新聞社 西部本社 編集委員	門永隆一

有識者からの意見

ー基本目標 I 住んでみたいまち、帰りたくなるまちづくりー

◆住まいの整備

- 相談件数が増え、空き家バンクの登録件数も増えてきていることから事業効果が表れてきている。
- 空き家再生住宅の整備が始まり、この時点では世帯転入の成果は出ていないとのことであるが、前年度に比べ転入数は増えている。移住定住に結びつく要因を整理ください。

◆にぎわいの創出

- 町内向けイベントの企画については新たに団体も増え、自主的に増えてきていることだが、町外向けイベントでどれだけお金を使っていたかということも重要になるのではないかと。
- 大山開山 1300 年やサントリー CM を活用されてはどうか。

◆効果的な情報発信

- 江府町応援団のファンクラブ特典など考えられてはどうか。

ー基本目標Ⅱ すこやかでいきいき暮らせるまちづくりについてー

◆出会い・結婚を支援

○事業のありかたを見直しながら実施いただきたい。

◆切れ目のない子育て支援

○負担軽減について手厚い支援がなされている。

○未実施事業は見直しを含めて検討を。

◆次世代を担う人材育成

○未実施の事業について検討を。

ー基本目標Ⅲ 産業振興により活力と雇用を生み出すまちづくりー

◆新たな事業の創生

○K P Iは横ばいであるが大事な事業であると考えている。

◆農業の振興

○特別栽培米の栽培面積と販売額について増加はしているが、目標値が大きいため達成できるよう取り組まれない。

◆産業の振興

○道の駅やエバーランドだけでなく、町内全体の売り上げが増加するように観光客に働きかけるよう取り組まれない。

◆就労支援の推進

○未実施事業もあるが、効果的なものもあり見直しながら実施されたい。